

# 長岡民商第62回定期総会を開催 困難を乗り越え、強大な民商をつくりましょう



長岡版

発行編集  
長岡民主商工会  
長岡市中沢167-1  
☎ 33-5948

2024年  
7月15日  
第2201号

インボイス制度は廃止を  
消費税は5%に減税を  
大軍拡・大増税をやめよ  
税務相談停止命令制度は  
廃止を

長岡民商は7月7日(日)、第62回定期総会を開催しました。

民商総会は今後一年間の活動の方針と重点を決め、方針実践の先頭に立つ役員を選出する任務を持ちます。

会の冒頭、酒井光男会長(北支部・スクラップ)が「平和でこそ商売繁盛」の重要性を訴え、あいさつしました。また、来賓を代表し、佐藤豊新商連副会長(三条民商副会長)、笠井則雄日本共産党長岡市議団団長があいさつしました。



酒井会長のあいさつ

総会方針の提案において、金内事務局長は会員拡大や強大な組織をつくるための活動の推進、消費税率5%への減税とインボイス廃止を求める長岡各界連行動への参加を呼びかけました。また、会員減少に伴う会費収入減少によって長岡民商の財政が一層厳しくなっていることから、今後、役員会で会費引き上げについて検討することを提案しました。

可能な限り支出を抑え経費節減に努めていますが、近い将来、現在の会費額では財政を維持できなくなることが確実です。営業と暮らしが厳しさを増す中、会費の引き上げをお願いせざるを得ないことは、申し訳ない思いでいっぱいです。しかし、長岡民商を存続させるためには、どうしても会費の引き上げを行わなければならない状態です。今後、商工新聞長岡版などで協議の過程をお知らせします。ご理解とご協力をお願いいたします。

監物忍会計(西長岡支部・設備)が民商財政を、佐藤敏行共済会会計(宮内支部・リフォーム)が共済会財政を、星野事務局が労働保険事務組合会計を説明し、酒井拓海会計監査役(料飲支部・飲食店)がこれ

らの監査報告を行いました。

その後、役員推薦、総会方針案、民商・共済会・労働保険事務組合の決算・予算案、会計監査報告が満場一致で採決され、新役員が選出されました。

最後に山田隆副会長(小国支部・自動車飯金)が財界人と会食を重ねる岸田総理の政治姿勢、辺野古基地建設反対運動に対し莫大な警備費をかける失政を指摘、「政治を変えなければなりません」と訴え、総会を締めくくりました。



山田副会長の閉会あいさつ

総会終了後は懇親会を開き、仲間同士で楽しく語りました。長岡民商は数年来、会員の減少が続いています。長岡民商の存続と発展には、仲間を増やすことが必要です。力を合わせて困難を乗り越え、強大な組織をつくりましょう。

**長岡各界連 7月の署名・宣伝行動**  
消費税をなくす長岡各界連絡会(長岡各界連)は、今月も左記のように署名・宣伝行動を実施します。ぜひご参加ください。  
日時 7月26日(金) 12時15分〜13時  
場所 アオーレ長岡前歩道

**お知らせ** 7/22・23 事務所が閉まります  
事務局の2人は7月22日(月)〜23日(火)、石川県金沢市で開催される全商連事務局員学習交流会に出席します。両日とも事務所は閉まりますので、あらかじめご了承ください。